



## 麻酔を受けることになったら？

手術にあたって受ける麻酔をご紹介します 3回シリーズの最終回では、  
いよいよ手術室に入室してから、麻酔・手術を経て、病室に戻るまでの流れをご説明します。

Text by 欧州日本人医師会 福井公子 医師/麻酔科 (マインツ ドイツ)

### + 手術室入室時の安全確認

手術室に到着しても、すぐに入れてもらえるわけではありません。近年、WHOが推奨する「手術安全チェックリスト」の導入が世界中で進み、多くの病院では手術室入室前に、本人確認（氏名・生年月日）と手術部位・手術内容の確認が直接患者さんに対して行われます。簡単で構いませんので、現地の言葉が英語で答えられるよう準備をしておくか、通訳をお願いしておくとい良いでしょう。

### + 眠りに落ちる前に

無事に本人確認・手術内容確認が終了すると、手術台や車椅子に乗りかえて手術が行われる部屋へ移動し、麻酔科医の診察や心電図検査、血圧測定、酸素モニターの装着、点滴が行われます。一部の病院では、麻酔準備室という大きな部屋でこうした準備が行われる場合もあります。担当の麻酔科医や看護師からは、再度名前や手術部位、手術内容を尋ねられるかもしれません。何度も同じことを繰り返して聞かれると不安になるかもしれませんが、これは安全のための確認作業ですので、ご協力をお願いいたします。

全身麻酔の場合は通常、まず顔に酸素マスクが当てられ、深呼吸をするよう促されます。2～3度深呼吸をしている間に麻酔薬が点滴から投与され、ものの10秒ほどで意識を失います。

部分麻酔で手術が行われる場合には、座ったり横向きに寝たり、手術部位によってさまざまな体勢をとった上で、痛み止めの局所麻酔薬が注入されたり、薬を持続的に投与するための細いカテーテルが留置されたりします。部分麻酔でも、多くの場合は鎮静剤を使用して手術中に眠ることも可能ですので、担当の麻酔科医に遠慮なく希望を伝えてください。

### + 手術終了後

手術が終わると、まずは麻酔回復室で引き続き心電図や血圧、呼吸の状態などを観察します。手術や麻酔の直後には、痛みはもちろんですが、吐き気や震えなどの症状もよく起こります。何か問題がある場合に

は、早い段階できちんと対処することが重要ですので、我慢せずに症状を伝えてください。通常は麻酔後3時間ほどで水を飲んでもよい状態になります。どうしても口が渇いて仕方がない場合は、水を含ませたガーゼやスプレーで口の中を湿らすと楽になるでしょう。手術後30分から1時間ほど観察して、意識がしっかりと回復し、痛みもなくなり、その他の問題もなければ病棟へ戻ることができます。

### + まとめ

3回にわたって麻酔の準備から手術後までの流れを簡単にご紹介させていただきました。「わからないことはきちんと質問する」「問題や希望があれば、遠慮せずに医療者側に伝えて話し合う」ということが非常に重要です。海外では日本と医療制度が異なる部分も多いため、言葉の壁に加え、診療の流れに戸惑ったり不安を感じたりすることもあると思いますが、医療スタッフとコミュニケーションを密にとり、納得した状態で治療を受けていただきたいと思います。

#### 欧州日本人医師会 電話無料健康相談のご案内

(ご注意：診察ではありません)

欧州9カ国、20名余りの非営利団体に属する日本人医師が、海外赴任や旅行など不慣れた海外生活での医療に関する、無料の健康相談を行います。

#### ● 健康相談日時：火・水・木曜日

(ヨーロッパ中央時間)	水・木曜日	21:00 - 22:00
	火曜日	22:00 - 23:00
(イギリス/アイルランド)	水・木曜日	20:00 - 21:00
	火曜日	21:00 - 22:00

#### ● 電話番号：+49 9951 9493 399

※この電話番号は相談専用電話のため、上記の時間以外では使えませんのでご注意ください。

無料健康相談担当医師一覧は以下のサイトでご確認ください。

<http://www.eu-jp-doctors.org>